

nms ホールディングス株式会社

2025年3月期 中間連結会計期間 決算概要

- 自動車関連における減産影響やお客様の販売戦略変更による生産調整等の影響があったものの、新規受注の立ち上げや量産開始等により、全体として業績は堅調に推移し、前年同期に対し増収増益
- これまで実行してきたコスト構造改革や基盤強化策の定着の効果に加え円安の進行による為替差益（695百万円）計上もあり、経常利益は増加
- 前代表取締役社長による不適切な経費の使用等（2024年10月22日付開示）に関する、特別調査委員会の調査等に係る一連の費用（233百万円）を特別損失として計上

| (単位：百万円) | 2024年3月期 中間連結 会計期間実績 | 2025年3月期 中間連結会計期間 実績 | | | | 備考 |
|---------------------|----------------------------|----------------------|--------|--------|--------|---|
| | | 第1四半期 | 第2四半期 | 累計 | 前年同期比 | |
| | | | | | | |
| 売上高 | 36,274 | 17,508 | 19,255 | 36,763 | 1.3% | 【営業外損益】 営業外収益 766百万円 (前年同期比 62百万円減) 営業外費用 327百万円 (前年同期比 109百万円減) 【特別損益】 特別利益 53百万円 特別損失 233百万円 |
| 営業利益 | 498 | 400 | 487 | 887 | +389 | |
| 経常利益 | 889 | 764 | 561 | 1,325 | +436 | |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | 560 | 562 | 327 | 890 | +330 | |
| 1株当たり 中間純利益 (円) | 36.03 | 36.19 | 21.10 | 57.29 | +21.26 | |
| EBITDA | 1,229 | 765 | 858 | 1,623 | +393 | |

■ 2025年3月期 通期連結業績予想 (25年1月14日公表)

- 2025年3月期連結累計期間は、米国の新政権による経済政策や各国の金利政策、これによる為替の変動など、不透明な経済環境が続く様相であり、国内事業については、自動車関連における減産影響やお客様の販売戦略変更による生産調整等の影響が続く見通し
- H S 事業においては、原価率改善や適正販管費の管理強化等、基盤強化策の実行を進めているが、需要動向の影響が残る見通し
- 一方、これまで戦略投資を行ってきた、E M S 事業のベトナム、北米事業においては、新規受注の立ち上げや量産開始等により業績は堅調に推移しており、P S 事業においても、需要は高い水準を維持
- 経常利益については、引き続き、円安による為替差益の発生が見込まれるものの、当中間連結累計期間において特別損失233百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する純利益は前回予想を下回る見通し

| (単位：百万円) | 2023年3月期 実績 | 2024年3月期 実績 | 2025年3月期 予想 (25年1月14日公表) | 2024年3月期 実績比 |
|---------------------|----------------|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 売上高 | 79,033 | 72,874 | 75,400 | +3.5% |
| 営業利益 | 1,537 | 1,888 | 1,650 | △238 |
| 経常利益 | 1,426 | 1,570 | 1,800 | +230 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 505 | 737 | 1,050 | +313 |
| 1株当たり 当期純利益 (円) | 32.52 | 47.42 | 67.55 | +20.13 |

■ セグメント別業績ハイライト

| (単位：百万円) | | 2024年3月期 中間連結 会計期間実績 | 2025年3月期 中間連結会計期間 実績 | | | | 前年同期比 | 主なポイント |
|----------|---------|----------------------------|----------------------|--------|--------|-------|---|--------|
| | | | 第1四半期 | 第2四半期 | 累計 | 前年同期比 | | |
| | | | | | | | | |
| HS事業 | 売上高 | 11,416 | 5,586 | 5,908 | 11,494 | 0.7% | <ul style="list-style-type: none"> 国内は、自動車関連の減産等の影響があったものの、原価率改善や適正販管費の管理強化等基盤強化策を推進 海外はこれまでの基盤強化策の効果に加え、中国やタイ、ラオスにおける販売増加もあり、需要は全体として堅調に推移 | |
| | セグメント利益 | 427 | 113 | 197 | 310 | △117 | | |
| EMS事業 | 売上高 | 17,347 | 8,388 | 9,226 | 17,614 | 1.5% | <ul style="list-style-type: none"> お客様による生産調整等の影響はあったものの、戦略拠点における新規受注の立ち上げや量産開始による生産数量の増加もあり、需要は堅調に推移 利益面でも、各拠点における生産性改善やコスト構造見直しの成果もあり増益 | |
| | セグメント利益 | 134 | 332 | 75 | 408 | +274 | | |
| PS事業 | 売上高 | 7,510 | 3,533 | 4,120 | 7,653 | 1.9% | <ul style="list-style-type: none"> お客様における減産や事業環境変化による販売後ろ倒し等の影響があったが、需要は高い水準を維持 生産効率向上や部材調達ソースの拡大等、安定した生産活動および収益確保への施策を着実に進めており利益増加 | |
| | セグメント利益 | 219 | 114 | 385 | 499 | +280 | | |
| 調整額 | セグメント利益 | △283 | △160 | △171 | △331 | — | 当社（持株会社）に係る全社費用 | |
| 合計 | 売上高 | 36,274 | 17,508 | 19,255 | 36,763 | 1.3% | HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業 | |
| | セグメント利益 | 498 | 400 | 487 | 887 | +389 | | |

売上高

11,494百万円

前年同期比 0.7%増

セグメント利益

310百万円

前年同期比 117百万円減

【事業母体】

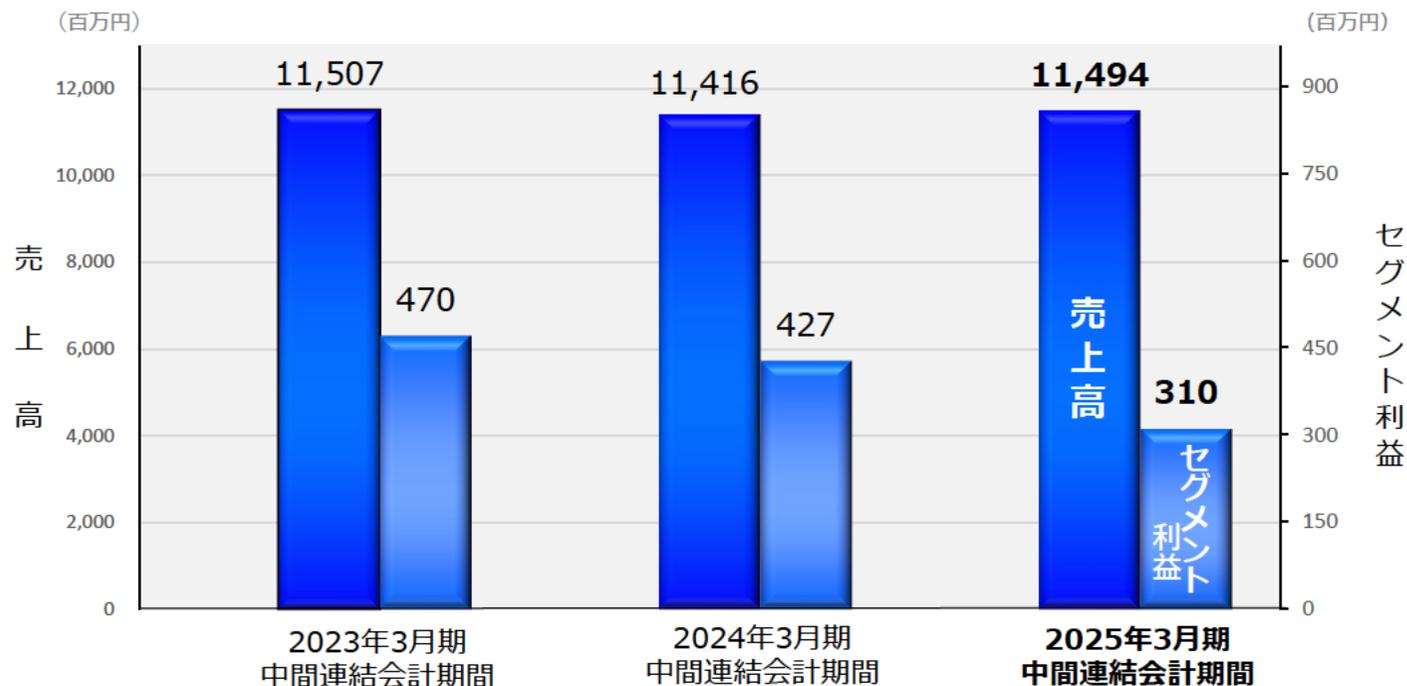
日本マニファクチャリング
サービスグループ

国内

- 自動車関連における減産等の影響があったものの、全体として需要は堅調に推移
- 高度エンジニア人材育成を目的とした技術センターの開設等、戦略投資における初期費用の発生があったが、既存取引における原価率の改善や適正販管費の管理強化等、基盤強化策の実行を進め、収益性の改善に努めた

海外

基盤強化策の効果に加え、中国やタイ、ラオスにおける販売増加や為替による影響もあり、売上、利益ともに堅調に推移



売上高

17,614百万円

前年同期比 1.5%増

セグメント利益

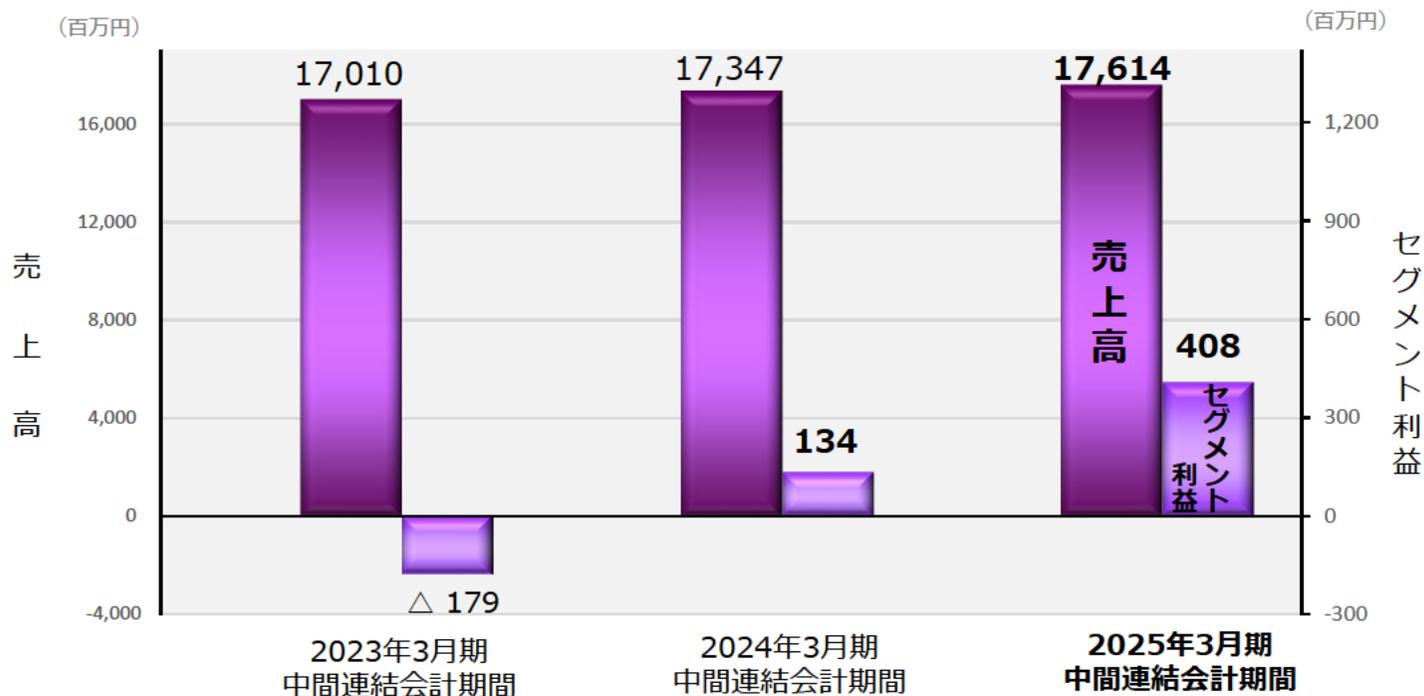
408百万円

前年同期比 274百万円増

【事業母体】

TKRグループ

- 中国・ASEAN・北米において生産活動を展開しており、お客様の販売戦略変更による生産調整等の影響があったものの、戦略投資拠点であるベトナム、北米において、新規受注の立ち上げや量産開始による生産数量の増加等により、堅調に推移
- 利益面でも、各拠点における生産性改善やコスト構造見直しの成果もあり、大幅に改善
- 北米事業は市場領域拡大を担う重点施策であり、お客様からの引き合いも増えていることから、業績改善に向け基盤強化策の実行を推進



売上高

7,653百万円

前年同期比 1.9%増

セグメント利益

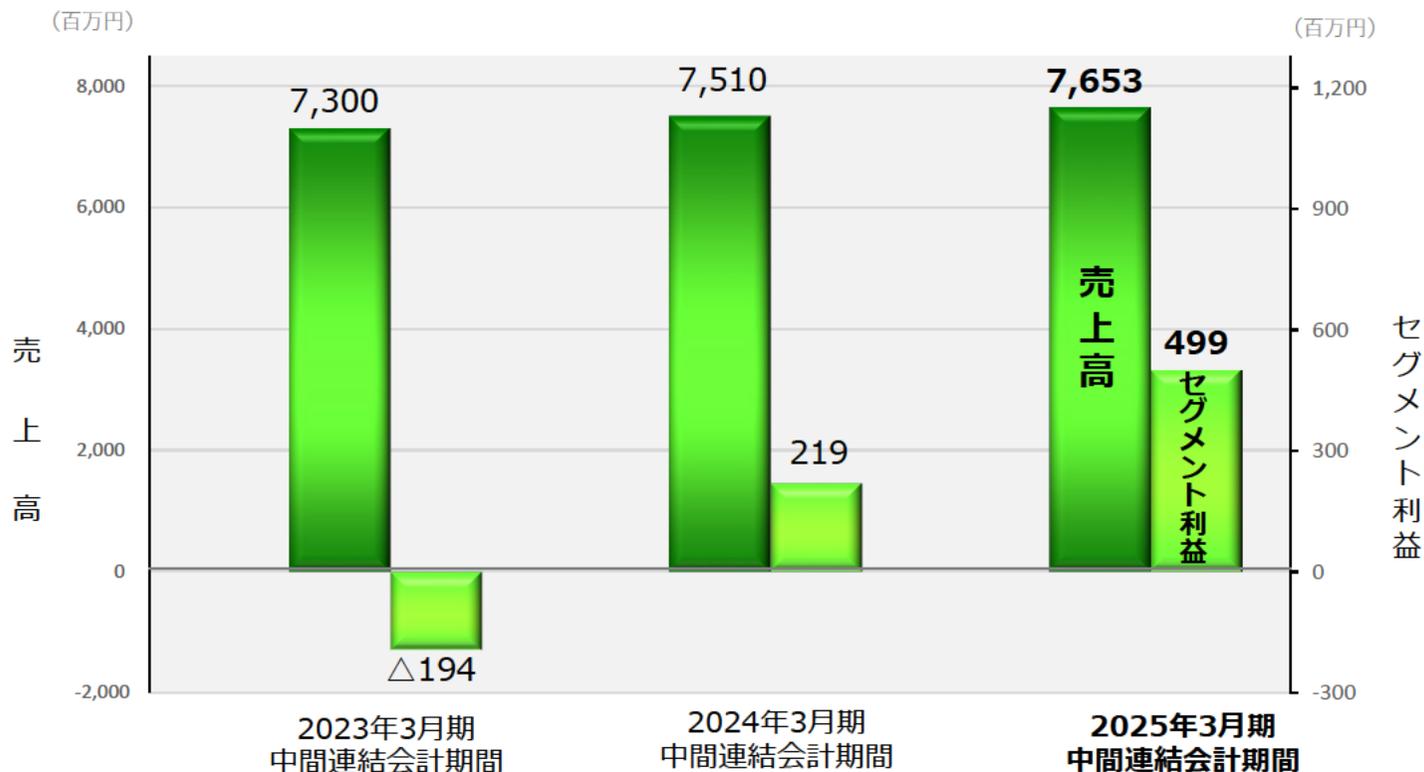
499百万円

前年同期比 280百万円増

【事業母体】

パワーサプライテクノロジーグループ

- サプライチェーンの構造変化による在庫調整や、お客様における減産および事業環境変化に伴う一部商品の販売後ろ倒し影響があったものの、需要は高い水準を維持
- 第2四半期より国内向け販売の増加など主力機種を受注が回復したことにより、利益も増加、引き続き、部材調達ソースの拡大等安定した生産活動および収益向上に向けた施策を着実に実行していく



■ 業績ハイライト (B/S)

| (単位：百万円) | 2024年3月期 (2024年3月31日) | 2025年3月期 中間期 (2024年9月30日) | 増減 |
|-----------------|--------------------------|---------------------------------|---------------|
| 流動資産 | 26,178 | 27,212 | +1,034 |
| 固定資産 | 9,784 | 10,577 | +793 |
| 有形固定資産 | 7,981 | 8,726 | +745 |
| 無形固定資産 | 605 | 596 | △9 |
| 投資その他の資産 | 1,197 | 1,254 | +57 |
| 繰延資産 | 13 | 6 | △6 |
| 資産合計 | 35,976 | 37,796 | +1,820 |
| 負債合計 | 32,631 | 33,601 | +969 |
| 流動負債 | 29,219 | 30,342 | +1,122 |
| 固定負債 | 3,411 | 3,259 | △152 |
| 純資産合計 | 3,344 | 4,195 | +850 |
| 負債・純資産合計 | 35,976 | 37,796 | +1,820 |

■ 業績ハイライト (C/F)

| (単位：百万円) | | 2024年3月期 中間連結会計期間 | 2025年3月期 中間連結会計期間 | 主なポイント |
|------------------|--|----------------------|----------------------|-------------------------------|
| 税金等調整前四半期純利益 | | 889 | 1,146 | |
| 減価償却費 | | 731 | 735 | |
| 運転資金の増減 | | 1,684 | △33 | 売上債権 △730 在庫 819 仕入債務 △121 |
| その他 | | △983 | △1,684 | |
| 営業キャッシュ・フロー | | 2,322 | 164 | |
| 固定資産の取得・売却 | | △586 | △531 | 売却収入 51 取得支出 △583 |
| その他 | | △32 | 21 | |
| 投資キャッシュ・フロー | | △618 | △509 | |
| フリーキャッシュ・フロー | | 1,703 | △345 | |
| 借入金の増減 | | △789 | 360 | |
| 配当金支払 他 | | △286 | △326 | リース債務返済 △218 配当金 △108 |
| 財務キャッシュ・フロー | | △1,075 | 33 | |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | | 4,247 | 4,197 | |

nms ホールディングス株式会社

<https://www.n-ms.co.jp/>

| | |
|---------|---|
| 本社所在地 | 〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階 |
| 代表者 | 代表取締役社長 河野 寿子 |
| 資本金 | 5億69万円（2024年9月30日現在） |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所（スタンダード市場） 証券コード 2162 |
| グループ社員数 | 12,769名（2024年9月30日現在） |
| 事業内容 | ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等 |
| 連結子会社数 | 海外19社含む25社（海外9カ国にグローバル展開） |
| 主な連結子会社 | 日本マニファクチャリングサービス株式会社（HS事業） 株式会社TKR（EMS事業） パワーサプライテクノロジー株式会社（PS事業） |

(参考) これまでの歩み：人材ビジネス+モノづくりで事業拡大

HS事業
からスタート

海外展開へ

最先端技術の根幹を支える
アナログ技術に着目

EMS・PS事業を
M&Aで獲得
モノづくり分野へ進出

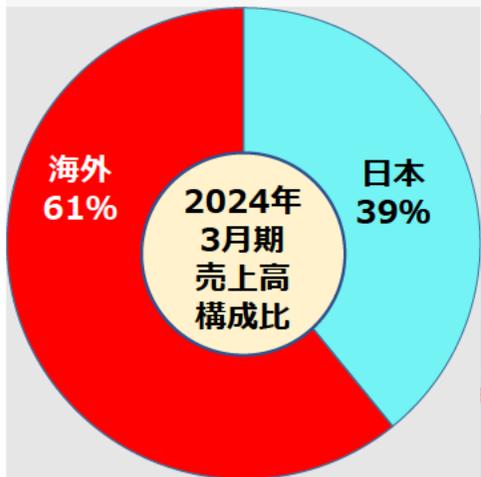
北米へ進出

新たなステージへ

| | | | |
|-----|--|------|---|
| 9月 | 製造分野を中心とした請負事業を目的に株式会社テスコを設立 | 1985 | |
| 9月 | 商号を日本マニファクチャリングサービス株式会社に変更 | 1999 | |
| 7月 | 北京日華材創国際技術服務有限公司を設立 | 2000 | 10月 テクノブレン株式会社アウトソーシング事業部の営業権を譲受 |
| 10月 | JASDAQ証券取引所へ上場（現東京証券取引所スタンダード市場） | 2003 | 4月 中国北京市に北京オフィスを開設 |
| 7月 | EMS企業の株式会社志摩電子工業を子会社化 | 2004 | 4月 日本人技術者派遣事業を開始 |
| 8月 | NMS International Vietnam Company Limited 設立 （外資初の構内製造請負事業許認可を取得） | 2005 | 4月 日本人技術者派遣事業を開始 |
| 12月 | 北京中基衆合国際技術服務有限公司（現：中基総合（上海） 人力資源服務有限公司（中基総合））を設立 （外資初の中国国内労務派遣営業許認可取得） | 2007 | 7月 ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設 |
| 3月 | 中基総合が中国政府系人材サービス会社を子会社化 | 2008 | 7月 EMS企業の株式会社テーケイアール（現：TKR）を子会社化 |
| 10月 | TKRが株式会社日立メディアエレクトロニクスより 電源・トランス事業等を譲受 | 2010 | 9月 中基総合 無錫分公司を設立 |
| 1月 | nms Vietnam Co., Ltd.設立 | 2011 | 1月 中基総合 深圳分公司を設立 |
| 3月 | カンボジア駐在員事務所設立 | 2012 | 7月 中基総合が中国河南省政府系機関と業務提携 |
| 7月 | ベトナム工場、製造受託開始 | 2013 | 5月 中国製造請負研究プロジェクトに参画 |
| 7月 | nms(Thailand)Co., Ltd.がカンボジア現地企業と業務提携 | 2014 | 8月 日本通運株式会社と業務提携 |
| 7月 | TKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.設立 | 2016 | 9月 nms(Thailand)Co., Ltd. を設立、派遣事業を開始 |
| 1月 | PSTが開発・製造拠点「松阪工場」を開設 | 2017 | 10月 パワーサプライテクノロジー株式会社（PST）発足、パナソニック株式会社から 一般電源事業を譲受し新たな体制で事業運営開始 |
| 5月 | TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd. を設立 | 2018 | 12月 カンボジア人材会社2社とタイへの派遣事業で業務提携 |
| 6月 | n m s ロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社を設立 | 2019 | nms ホールディングス発足 |
| 10月 | PT. NMS CONSULTING INDONESIA を設立 | 2020 | 7月 NMS Lao Sole Co., Ltd. 設立 |
| 12月 | TKR USA, Inc. を設立 | 2021 | 8月 株式会社日本技能教育機構（JATEO）を設立 |
| 1月 | n m s エンジニアリング株式会社を設立 | 2022 | 3月 TKR USAがソニー株式会社の米国法人Sony Electronics Inc.の 事業部門 Sony Service and Operations of Americasの 機能及び事業、並びにメキシコ生産拠点を譲受 |
| 3月 | Power Supply Technology (Thailand)Co., Ltd.を設立 | 2023 | 4月 TKR de México S.A. de C.V. にて事業開始 |
| 7月 | Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedを設立 | 2024 | 1月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limited にて事業開始 |
| 2月 | 外国人材の技能教育施設、「nmsテクノロジートレーニングサイト」を開設 | | 1月 「株式会社テーケイアール」から「株式会社TKR」に商号変更 |
| 3月 | PSTが横浜にR & Dセンターを開設 | | |
| 4月 | n m s エンジニアリングが東京と大阪に技術センターを開設 | | |
| 10月 | n m s でブランドプロモーション開始 小日向文世さん出演のCMを展開 | | |

(参考) nms HDグループの海外展開

各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得



中国・香港

HS

EMS

PS



北京日華材創国際技術服务有限公司 (日華材創)
 中基総合 (上海) 人力资源服务有限公司 (中基総合)
 無錫分公司 深圳分公司 上海第1分公司
 東莞分公司 広州分公司 蘇州分公司 大連分公司

中宝華南電子 (東莞) 有限公司
 中宝華南電子 (佛山) 有限公司
 中宝華南電子 (佛山) 有限公司 深圳分公司
 中宝華南電子 (佛山) 有限公司 蘇州分公司

TKR Hong Kong Limited
 Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited



タイ・カンボジア・ラオス

HS

PS



nms(Thailand) Co., Ltd.
 Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd.



Representative office of nms (Thailand) Co., Ltd.



NMS Lao Sole Co., Ltd.

ベトナム

HS

EMS



NMS International Resources Co., Ltd.
 nms Vietnam Co., Ltd.
 TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd.

アメリカ・メキシコ

EMS



TKR USA, Inc.



TKR de México S.A. de C.V.

マレーシア

EMS



SHIMA Electronic Industry (Malaysia) Sdn. Bhd.
 TKR Manufacturing (Malaysia) Sdn. Bhd.
 TKR Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

インドネシア

HS



PT. NMS CONSULTING INDONESIA

「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。

nms Holdings

HS

ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を知り尽くした人材が
日本やアジア各地域で活躍

事業主体

nms
NIPPON MANUFACTURING SERVICE

日本マニュファクチャリングサービス
グループ

国内29拠点・海外19拠点

EMS

エレクトロニクス
マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する
トータルソリューションを実現

事業主体

TKR

TKRグループ

国内3拠点(含2工場)・海外8拠点

PS

パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で
ワンランク上のソリューションを提供

事業主体

PST

パワーサプライテクノロジー
グループ

国内2拠点・海外5拠点

主なグループ会社

進出国・地域

主な事業内容

ヒューマンソリューション事業 (HS事業)

・日本マニファクチャリングサービス株式会社

- ・nms エンジニアリング株式会社
- ・株式会社日本技能教育機構
- ・中基総合（上海）人力資源服務有限公司
- ・nms Vietnam Co., Ltd.
- ・nms (Thailand) Co., Ltd.
- ・PT. NMS CONSULTING INDONESIA
- ・NMS Lao Sole Co., Ltd. 他

日本
中国
ベトナム
タイ
ラオス
インドネシア
カンボジア

国内/海外におけるマニファクチャリングサービス全般

- ・製造事業（受託・請負・派遣・紹介）
- ・生産系エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介）
- ・IT・設計開発エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介）
- ・テクニカルサービス事業（各種リペア・リワーク・解析等/カスタマーサービス全般）
- ・ロジスティクスサービス事業（3PL/流通加工/派遣）
- ・外国人技能実習制度に関わる入国後教育研修の受託および実習生受け入れ先への業務支援

エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業 (EMS事業)

・株式会社TKR

- ・中宝華南電子（東莞）有限公司
- ・TKR Manufacturing (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・TKR Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- ・TKR USA, Inc.
- ・TKR de México S.A. de C.V.
- ・株式会社志摩電子工業 他

日本
中国
香港（中国）
マレーシア
ベトナム
米国
メキシコ

・電子機器製造受託サービス

- （基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立 等）
- ・電子機器修理サービス
- ・車載関連機器・部品の設計・開発・製造
- ・お客様とのシェアリングビジネス、これにかかる設計・開発・営業
- ・スタートアップソリューション事業

パワーサプライ事業 (PS事業)

・パワーサプライテクノロジー株式会社

- ・中宝華南電子（佛山）有限公司
- ・Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd.
- ・Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited

日本
中国
香港（中国）
タイ

- ・カスタム電源（スイッチング電源、高圧電源）の開発・設計・製造・販売
- ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売
- ・各種トランス（スイッチングトランス、高圧トランス）の開発・設計・製造・販売

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ
nms ホールディングス株式会社
広報・IR部 Tel:03-5333-1737
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

